

平成28年度 関西医療学園校友会総会・懇親会報告

平成28年6月18日(土)にスイスホテル南海大阪8階浪華の間にて「平成28年度校友会総会」が盛大に開催されました。今年の総会は287名の会員の先生方に御参加頂き大盛況にて終了することができ、役員一同大変感謝をしております。

今年の総会は、校友会副会長の黒山 紀男の開会宣言から始まり、校友会会長の林利彦がご挨拶させていただきました。続いて関西医療学園理事長で関西医療学園専門学校校長の武田大輔先生、関西医療大学学長の吉田宗平先生に来賓を代表して挨拶を頂きました。

一谷総務委員長から会務の報告をさせていただき、校友会東洋医療部会長の宮井 健二の閉会の挨拶で総会は終了しました。

その後、大学理学療法部会会長の西村 健先生の開会宣言によって今年の懇親会パーティーはひらかれました。

今年も余興は恒例になりました関西医療大学の各クラブの披露です。はじめは吹奏楽同好会の演奏でした。とてもダイナミックな演奏で、ステージ前に人が集まり大いに盛り上がりました。演奏の曲がテレビなどで一度は耳にしたことがある曲が多く、自然と会場から演奏に合わせ手拍子が起こり会場全体が一体となっておりました。続いてダンス部によるダンスが披露されました。非常にダイナミックで華麗なダンスを披露してくれ、吹奏楽から引き継ぎ会場のボルテージは一気に上がりました。

最後には、今年度もビンゴ大会が行われました。豪華な景品が数多く用意されましたし、今年からは司会の先生が会場の先生方に質問をし、その答えで番号を決めていくという手法がとられました。いつもより会場が一体となり、ビンゴ大会が進むにつれ会場全体の熱気が上がっていくのを感じましたし、見事にビンゴになった人が喜びを爆発させる姿が数多く見られました。

参加した先生方にお話を聞くと、知り合いだけでなくベテランの先生方とも交流できるめったにない機会楽しんで頂けたようです。

その他の先生方の感想もどれも満足されていたようで、今年も大成功で終わることができたと感じました。



今年卒業した新人の先生から、大ベテランの先生方までが一堂に会する校友会総会はとても有意義な会です。幅広い年齢層の先生方が語らい縦横の繋がりを広げていくことで、関西医療学園の歴史と伝統の重みを感じ、学園と交友会が更なる発展をしていくことと強く感じました。

今後も卒業生からなる校友会を更に拡大し、繋がりを培うことで、現代を生き抜くことが重要であると感じました。